

■■■ ◆ 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくおねがいたします。

■■■

◆理事のあいさつ

セヘ ポンマニ パドゥプシヨ (新年たくさん福をうけとってください)

昨年は、井植文化賞、読売福祉文化賞など多くの賞を頂きました。新たな一步を踏み出すよう背中を押してくれたように感じます。

自由や人権という普遍的価値を生み出した欧州が、難民受入、テロへの恐怖で揺れています。日本で暮らす移民と真摯に向き合ってきたKFCだからこそできる自由や人権を守る取組を進めることが今、求められています。今年もKFCに多くのご協力をお願いします。

(理事長 金 宣 吉)

KFC会員の皆様、あけましておめでとうございます。セヘ ポク マ〜ニ パドウセヨ!!

昨年は私にとって、韓日国交正常化50周年行事などで大変忙しい一年でした。KFCでは、定住外国人のための多くの事業を、息つくヒマもなくやりとげてきたと思います。大変な現場でがんばっているスタッフのみなさん、ささえて下さったサポーターのみなさまに感謝します。今年も元気に一緒に歩いていきましょう。(副理事長 李 圭 燮)

明けましておめでとうございます。昨年は多くの社会矛盾を先送りし続ける不合理で傲慢な政治と社会に、プンプン怒ってばかりの「怒」の年でした。今が日本の分岐点。感情に吞まれない冷静な判断のために自分を備え、なまりきった体に喝を…と、とりあえず武道を始めました。ダークサイドに屈しないジェダイの戦士めざしてフォースを鍛錬せねばなりません。早くスターウォーズの新作見たいな。今年もよろしくをお願いします！

(理事 野崎 志帆)

2015年は日本社会の底が抜けた年として後世の歴史家に特記される年になりました。後世、我々は、ナチス・ドイツが政権をとった1933年や、日中戦争がはじまった1937年の大人たちと同じように、孫やひ孫の世代から「あの時いったい何をしていたの？」と問われる立場に立っています。その意味で、2016年は、未来の世代への「責任」をより深く考えつづける一年になりそうです。本年もよろしくお願い申し上げます。

(理事 樋口 大祐)

ここ10年以上続けていることがあります。それは‘マイ月報’です。

一か月が終わると、手帳や日記からこの一か月を振り返ります。まとめは①文化活動②活動③交流④健康⑤経済(自分のお金の使い方)そして次月の課題を掲げます。時々馬鹿げたことをしているかなと思うこともありますが、意外な事が発見できたりします。

月目標は①映画は3本以上、本は5冊以上②歩いて職場に行く(20回以上)③弁当作り

『継続は力なり』を信じて、今年も目標を掲げて生活したいと思っています。

(理事、グループホーム・小規模多機能八ヶ岳施設長 山根 香代子)

昨年は安保関連法案の可決があり、シリアの混沌とした情勢の中、外国人に対するヘイトスピーチが激しさを増すことが懸念されます。また、2020年のオリンピック開催に向けて、技能実習生の拡大による外国人受け入れの増加も予想されます。定住外国人の権利擁護のために、KFCの活動がますます重要性を帯びてきます。今年もよろしくお願ひします。（理事 吉井 正明）

## ■■■KFC日本語プロジェクト■■■

### ◆遠足「嵐山」

11月29日の日曜日に、京都の嵐山へ遠足に行きました。月・木曜日の夜クラス、日曜日クラス、火・水曜日生活日本語クラスの学習者とその家族38名と支援者7名の総勢45人と大勢のメンバーとなりました。学習者の出身はベトナム、中国、インドとアメリカです。寒い日が続いていたのですが、当日は薄曇りで少し暖かく、遠足には絶好の日でした。9時に阪急三宮駅に集合して、阪急で行きましたが、乗る前の切符の購入、参加人数の確認、途中の十三と桂の2カ所の乗換、切符を落としてしまったり、嵐山駅を降りてからのトイレと、大人数のため引率の方々はてんてこ舞いでした。日曜日ということと紅葉の絶好のシーズンということで、沢山の観光客が訪れて来ていました。その中を、まず、欄干部分が木でできている渡月橋を渡りました。渡月橋と呼ばれるようになったのは、鎌倉時代に亀山天皇が、満月の晩の舟遊びの際に、月が橋の上を渡るように見えることから、「くまなき月の渡るに似る」と詠われたことに由来しているそうです。水平一線の橋と川と山が一体となった景観は、自然との調和の中で“美”が表現されています。食堂と弁当の2グループに分かれて昼食を取った後、天竜寺へ行きました。法堂の天井の雲龍図は時間の関係で見られなかったのですが、本堂と庭園を見て回りました。本堂では達磨の絵や龍の襖絵を見ることができ、また、本堂からの庭園の池周りのすばらしい紅葉の景色を堪能することができました。その庭園の紅葉の中を散策しながら北門を出て、竹林の中を通り抜けました。真っ直ぐに伸びた美しい何本もの竹が、両側からせり出してくる光景はなかなかお目にかかれない美しいものでした。その後、川沿いに歩いて嵐山駅に戻りました。参加者の内10名位の方は、竹林を抜けた後、嵯峨野の紅葉の名所巡りで常寂光寺、仁尊院などを訪れました。戻る途中も、日本人の観光客も多かったのですが、外国人の観光客もたくさん来ていました。着物姿のカップル・女子グループもいて、その中をイケメンの車夫に引かれた人力車も多数走っていました。京都の秋の絶好の紅葉を参加者は十分楽しめたと思います。京都へ来たことのある人はいたようですが、嵐山に来た人は少なかったようで、多勢の方が春の桜の頃には是非またここへ家族で来たいと言っていました。

（ニュース係 川淵 啓司）

### ◆日本の伝統楽器 三味線を聞こう！

2015年12月8日（火）に日本語の教室で三味線を聞きました。初めての体験でした。とても良かったです。感動しました。みんなで「黒田節」を歌いました。楽しかったです。とても日本的で日本の文化が印象に残りました。自分も三味線をやりたいなと思いました。

（学習者：林秀妹）

火曜日のコーディネーターの香田ちづるさんは三味線歴が長く、この日、松永鐵壽彌師匠と福田通子さん、近藤裕美さんと4人で演奏と長唄を披露してくれました。みなさん、音やメロディーはどこかで聞いたことがあります、目の前で聞くのは初めてです。いつもの教室なのに、この時ばかりは古都の街並みにいるような錯覚に陥りました。

3本の弦をバチを使ってつま弾く音は独特です。日本の伝統の音でしょうか。三味線の音楽には欠かせない「祇園小唄」、定番の「さくらさくら」などを演奏して頂きました。歌詞がわかりやすいこともあって「黒田節」のサビの部分「酒は飲め飲め、飲むならば～」を即興で覚え、三味線の伴奏に合わせてみんなで合唱し、楽しい時間を過ごしました。

(奥 優伽子)

### ◆お弁当を作ろう

12月16日の水曜日クラスでは、「日本のお弁当」を皆で作りました。学習者12名、支援者6名が参加し、とても賑やかで笑い声の絶えない時間となりました。

お弁当の中身は、おにぎり、卵焼き、タコさんウインナー、ブロッコリー、プチトマト、冷凍のお惣菜でした。おにぎりを初めて作る学習者も多く、握り方を試行錯誤しながら、梅干、鮭、おかか、昆布、シーチキン等、思い思いの具を入れて作りました。作ったことのある学習者も「今までは強く握りすぎていたけれどコツがわかった！」と満足されていました。タコさんウインナーは、焼く前はどんな形になるか想像できなかった様ですが、焼いたらタコの形になり、とても人気でした。卵焼きも学習者自身で焼いてもらいました。お箸を上手に使い作れていました。冷凍のお惣菜も、写真を撮り興味深そうでした。かまぼこは調理なしでお弁当に入れていいのか？等、普段あまり確認する機会のない質問もでていました。

料理を日本語で行うことで、作り方だけでなく、調味料などの名前も覚えられ、日本の文化と言葉を同時に学べ、且つ学習者同士や支援者との交流の場にもなり、とても楽しい本年度最後のクラスとなりました。(ロバーツ 康子)

---

### ■■■KFC外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

#### ◆農園&三田めんたいパークへ

11月3日(火・祝日)に農園へ行きました。今回は、農園での作業後、三田市にある「めんたいパーク」へ行くことにしました。

相変わらず集合時間には揃わず、連絡がつかず家を出たかどうかもわからないネパール姉妹はほっていったのですが、結局遅れてきて、車1台は途中で引き返して、彼女たちを迎えに行くことになり、最初からドタバタでした。

農園では、もう11月だというのに暖かい日が続いていたので、オクラやピーマンがまだ収穫できました。大根の葉は少しずつ出てきていましたが、先日植えたラディッシュはまだ芽が出ておらず、子どもたちがその畝の上を平気で歩くので、「やめてー、そこは歩かんといてー」という大人の叫び声。種まきでは、ハウレンソウを植えました。指導役のベトナムルーツの4年生女子が、てきぱきと4人の子どもを引き連れて、種を撒いていきました。1.5時間ぐらいの作業の後、近くの公園でお弁当を食べて、三田のめんたいパークへ向かいました。毎回、車酔いの子どもが出るため、今回はスマートフォンでYOUTUBEの動画を流し、大きな声で歌いながら移動しました。

めんたいパークに到着すると、簡単なめんたいこに関する情報を見てから、「めんたいランド」へ。めんたいランドは有料ですが、明太子柄のクリアフォルダと明太子ポテトチップスのプレゼントつきでした。中に入ると、さかなつりゲームやUFOキャッチャーなど子どもが遊べるゲームが10種類ぐらいあり、子どもたちは夢中になって遊びました。

ランドで思う存分遊んだあとは、めんたいソフトクリームやめんたいおにぎり、めんたいこ入り肉まんなど、自分の好きなものを食べ、帰路につきました。

中国の東北地方では「めんたいこ」を食べることがないらしく、中国の哈爾濱出身の6年生の子どもは「めんたいこ」を知らない、食べたことがないということでしたが、この日は風邪で参加することができなくなり、それは少し残念でした。 (志岐 良子)

## ■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

### ◆初めての一人の旅

日本に来て間もなくもう7年になります。来日してから他の帰国者たちと一緒に団体旅行には参加したりしました。

いつか自分で計画を立てて旅したいとずっと思っていました。この度、図書館から本を借りてきて読み、企画し日帰り旅行に行くことにしました。

今回は、秋の京都の嵐山を見に行くことに決め、インターネットで行き方と電車代を調べました。阪急春日野道から嵐山まで片道620円であることが分かりました。

11月のある日、8時半に家を出て、阪急春日野道から十三まで行き、そこで電車に乗り換え桂という駅まで行きました。阪急十三駅で乗り換える時、乗り換えのホームが分からなかったのので、日本語でお店の方に聞きました。とても親切に教えてくれましたのですぐに乗り換えることができました。

桂駅で乗り換える時にも、近くの人がもう一度詳しく教えてくれたので、迷うことなく乗り換えることができ、無事に嵐山に着きました。

10時過ぎに着きましたが、もうすでに観光客が大勢いました。

世界遺産で有名な天龍寺はとても素晴らしかったです。足を延ばして野宮神社にも行きましたが、中でも紅葉が一番きれいだったのは常寂光寺でした。

きれいな着物を着た若者たちもいて、とても面白かったです。

途中で竹林の山道を散策していたら、若い頃挿隊（注：中国の文化大革命の時、知識人たちが田舎の農村部に送り出され、農業、林業等の体験をさせられたこと）で行っていた田舎のことを思い出しました。私は文化大革命の時、下放（注：挿隊と同じ意味）されて20年間閩北山地区で暮らしましたが、その地区にも竹がたくさんありました。

嵐山の渡月橋の近くには川があり、山があって日本に来るまでに私が住んでいた中国の家によく似ていて、昔の中国の懐かしい思い出の数々が蘇り、周りの風景を眺めながらそこでしばらく幸せな時間を過ごしました。

行く先々で素晴らしい風景をシャッターに納め、楽しい一日はあっという間に過ぎてしまいました。

帰りは行くときと同じ経路で無事に家に帰りました。次回も自分で企画し、一人旅を楽しみたいと思います。 (陳 紀仲)

### ◆中国の誕生日①「長寿面(麺)を食べる」

中国人スタッフに「日本で誕生日に決まって食べるものはありますか」と聞かれました。日本では、お正月には色々といわれのある物を食べるけど誕生日は特にないな、という話をしていたら、中国では長寿面（麺）を食べるとのこと。それには以下のような意味があるからだそうです。日本でも誕生日には長寿を祈って、麺を食べてみてはいかがでしょうか。

麺類は細長い形をしている上、「麺」と「綿」（長く続くという意）は同音であることから、誕生日に麺類を食べると健康で長生きできる。

「長寿麺」を食べるときは、できるだけ切ってはならず、箸でつかんだ麺が長ければ長いほど、

長生きできると言われている。

## ◆中国の誕生日②

中国の華北地域では、誕生日に家族にごちそうしてもらうことは一般的です。しかも、その日に食べなければならないものがあります。例えば、朝食は必ず「长寿面」を食べます。昼食は家族によって違いますが、品数は基本的に10品。10品ではなくても、出される料理の品数は偶数です。10品とは「十全十美」、つまり、すべて揃っており、完璧で欠点のないという意味があり、「十全十美」の人生になるような願いが込められています。そして、必ず鶏料理、魚料理、白菜といった野菜炒めの料理、インゲン豆炒めなどの料理が用意されます。鶏は中国語で「ji」という発音で、「大吉」の「吉」(ji)と同音です。鶏を食べることは「大吉」、「吉祥」の一年となる。魚「yu」は「余」(yu)と同じ発音であり、余る、蓄積があるという意味があります。インゲン豆は中国語では「芸豆」と言います。「芸豆」の「芸」(yun)は「幸運」、「好運」の「運」(yun)と同音です。インゲン料理を食べると一年中好運に恵まれるという意味があります。総じて、誕生日にいろいろ配慮して縁起のよい食材を選びます。夕食は必ず中国の伝統食「餃子」を食べます。

---

## ■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護八ナ ■■■

### ◆頑張れ、スキルアップ

私のこの1年は、ちょっと、大変な1年でした。と言うのは、もちろん、自分自身の為なんです。資格を取得する為の、勉強の1年でした。まずは、認知症ケア専門士の試験に合格する事、この試験は、五年間で、4分野の試験に合格しなければいけません。これを、3年目で4分野の合格出来ました。また

上司からの後押しで、介護支援専門員の受験を勧められました。この資格に関しては私自身、全く資格取得を考えていませんでしたので、戸惑いました。何故なら、昨年度の合格率が、18%だと知り、到底無理だと思っていました。でも、言われたからには、努力してみようと、春から半年がかりで学校にも通い、勉強しました。とは言っても、帰宅すると、くたくたで、中々気合を入れて勉強出来ませんでした。勉強期間中も、1回で、受かりたいという気持ちと、無理やろうなあとという気持ちが、ずっとありました。この勉強期間中には、神戸市社会福祉協議会の6回にわたる研修がありました。カリキュラムの中には、1泊二日の研修もあり、グループワークでテーマを決めて、発表会で発表するという研修でした。正直、いっぱい、いっぱいでした。

そんな中、年齢も55歳ですし、記憶力も衰えています。本当に、新しい事を覚えるについては、しんどかったです。結果、合格する事が出来ました！試験後、自己採点した時は、落ちた！と思っていましたので、喜びも倍増しました。

日々、仕事をしながら、勉強する事は精神的にも、体力的にも大変です。だからこそ、努力した結果が尚、嬉しいものです。ホームの職員達も、世代は、様々ですが、自分のスキルアップを目指して、頑張ってもらいたい

です。このおばさんを見本に、是非、資格取得に挑戦してもらえたらと思っています。(金松 恵)

---

## ■■■ 八ナの会 ■■■

### ◆八ナの会行事や工作

秋になると遠足に行きます。外出機会の少ないお母さん様達はこんな機会がないと中々普段行けないところへはいけないので、スタッフも色々考え、足場は大丈夫かな？安全にすごせるかな？楽しんでもらえるかなといろいろ考慮しポートアイランドにある『神戸どうぶつ王国』に行く事になりました。2日に分け、お昼から車で出発、2日とも天気に恵まれ普段では経験できないような動物にふれたり、写真をとったり表情もやわらかくとても笑顔になられ、楽しんでいただきました。迫力のあるペリカンのショーを目の前で見、大きな拍手をされ、感動されていました。ゆったりと園ですごし、お母さんたちが普段歩かれている何倍の距離をみんなでワイワイお話をしながら、とてもいい運動になりました。遠足後に来所された時には、遠足とても楽しかったよ、ありがとうとおっしゃってくれ、スタッフ一同安心しました。

ハナの会では、午前中には脳トレをしたり、リハビリ体操を行ったりしています。午後からはおのこの時間をすごします。カラオケをする方、花札をする方、協力して壁紙、貼り絵、手作業が得意な方がたくさんいます。壁紙政策で来年の干支にちなんで申（さる）の親子が温泉に入っている貼り絵をみんなの力を合わせて作る事にしました。色紙をこまかくちぎり役割分担をしながらちぎる人貼る人、修整する人作業をしだすと夢中になり、なかなか手を止める事ができません。昔とても苦労され、一所懸命仕事をされてきた方たちなのでとても熱心にされ、あっという間に完成しました。デイサービスの壁に飾り、とても温かい壁画ができました。デイサービスハナの会のお母さんの方たちはそれぞれの得意な分野のものを出し合い協力して毎日を笑いながら楽しくすごしています。（鮑 少君）

---

#### ◆在日ベトナム人高齢者支援事業～秋の社会見学会～

KFCでは2013年度より、自宅で孤立しがちなベトナム人高齢者に対して、各種支援事業（生活状況聞き取り・家庭訪問・交流会・外出支援・介護保険利用支援など）を実施しています。

今年度も、月1回第3木曜日に定期的な交流会を実施しており、毎回10数名の方々が参加されています。今回、この支援事業の一環として、公益信託 神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成を受け、11月19日（木）、奈良への社会見学会を実施しました。

当日は薄曇りでやや肌寒い天気ではありましたが、ベトナム人高齢者及びその家族22名が参加されました。マイクロバスで奈良まで行き、奈良公園・東大寺を観光後、カトリック奈良教会を見学するというスケジュールで、移動時間が長かったのですが、皆さん、体調を崩されることなく、遠方への外出機会を楽しまれました。

奈良公園に到着するとすぐに、ベトナム人高齢者・家族の皆さんは要所要所で写真撮影。参加者の皆さんがはぐれてしまわないかハラハラしましたが、無事東大寺前に集合。幾つかのグループに分かれて東大寺を拝観しました。ただ、何人かの高齢者の方々にとっては、奈良公園・東大寺の広大な敷地内を歩いて移動するのはご負担だったようで、途中、境内の一角で座って休憩をされる場面もありました。その後、奈良公園内で昼食。ブルーシート上で輪になって和気藹々と昼食を楽しまれていました。昼食後、カトリック奈良教会へ移動。阪神・淡路大震災の際に、鷹取教会でボランティアをして下さっていたという教会関係者の方々が温かく出迎えて下さり、お茶を御馳走になりながらお話を伺い、信者の方達は礼拝をされて、教会を後にしました。

奈良を出て神戸へ向かう車中では、皆さんお疲れのご様子でしたが、普段はなかなか交流機会がない為か、ベトナム語での会話に花が咲いていました。渋滞に会う事なく、新長田まで戻り、解散。8：30集合、17：00解散という長時間の日帰り旅行ではありましたが、皆さんにこやかに帰途に着かれました。

今回の社会見学会では、「秋の奈良の紅葉を楽しみ、日本の自然・文化・歴史に触れる」という

目的と同時に、ベトナム人高齢者・家族同士の交流機会を提供することや、日常の中に何か楽しみとなるものを提供することにも重きを置いており、その意味でも有意義な1日になったのではないかと思います。

介護保険等、公的な社会保障制度を利用することに遠慮や抵抗感を示すことが多いベトナム人高齢者・家族の方々ですが、今回のような社会見学会や、定期的な交流会等を通じ、高齢者への支援施策について、少しずつ理解を深めていただけたらと考えています。（吉本 直子）

---

### ■■■ 今後の予定 ■■■

#### ■日本語プロジェクト研修会

1月5日(火) 書初め 於 KFC教室スペース

1月16日(土) 「外国語を学習するハウツー」

2月20日(土) 「地域日本語を考える」

於 神戸国際協力交流センター会議室

#### ■KFC新長田交流会

1月12日(火) 映画鑑賞会

2月9日(火) 新春会

#### ■ベトナムデー

1月21日(木)、2月4日(木)、18日(木)、

25日(木)、3月3日(木)